

提出順	/3	発言順	7	令和5年2月20日 午前・午後 8時35分受領
-----	----	-----	---	----------------------------

(2枚中 No.1)

令和5年2月20日

(宛先) 安曇野市議会議長 平林 明

安曇野市議会議員 橋本 裕二

一般質問発言通告書

下記のとおり、通告します。

議会名	令和5年安曇野市議会3月定例会		
発言の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 一問一答 <input type="checkbox"/> 一括質問一括答弁	質問時間	20分
答弁を求める者			<input checked="" type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 副市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 他 ()
担当部長			<input type="checkbox"/> 総務部 <input checked="" type="checkbox"/> 政策部 <input type="checkbox"/> 市民生活部 <input type="checkbox"/> 福祉部 <input checked="" type="checkbox"/> 保健医療部 <input type="checkbox"/> 農林部 <input checked="" type="checkbox"/> 商工観光スポーツ部 <input type="checkbox"/> 都市建設部 <input type="checkbox"/> 危機管理監 <input type="checkbox"/> 上下水道部 <input checked="" type="checkbox"/> 教育部 <input type="checkbox"/> 他 ()
質問事項	子育てしたい人が、3人以上産み育てられるまちになれるか。		

質問の要旨（具体的に記載してください）

- 少子化という国難に立ち向かうべく、国や東京都など他地域と歩調を合わせ、市もこれまでとは次元の異なる少子化対策を打ち出していくべき時だと思われるが、市の考えは。
- 少子化問題に対して安曇野市が具体的に実現したいことは何か。
- 子育てしたい人が、3人以上産み育てられるまちとはどのような地域なのか。市において何か課題はあるか。是非、雰囲気作りからでもお願いしたい。
- まず出産関連費用から、市独自に助成すべきではないか。
- (出会いについて) いつも新しい誰かと会える場として、若い人たちが毎月（毎週）自由に集い学び合える道場のような場の開設を検討してはどうか。起業セミナー、学び直し、各種講演などを連続させるもの。

[仮称 - AZUMINO カレッジ！・KENSEI カレッジ！・安曇野義塾！・・・]

提出順	13	発言順	7	令和5年2月20日 午前・午後 8時30分受領
-----	----	-----	---	----------------------------

(2枚中 No.2)

令和5年2月20日

(宛先) 安曇野市議会議長 平林 明

安曇野市議会議員 橋本 裕二

一般質問発言通告書

下記のとおり、通告します。

議会名	令和5年安曇野市議会3月定例会		
発言の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 一問一答 <input type="checkbox"/> 一括質問一括答弁	質問時間	
□市長 □副市長 □教育長 □他 ()			
担当部長 <input type="checkbox"/> 総務部 <input checked="" type="checkbox"/> 政策部 <input type="checkbox"/> 市民生活部 <input type="checkbox"/> 福祉部 <input type="checkbox"/> 保健医療部 <input type="checkbox"/> 農林部 <input type="checkbox"/> 商工観光スポーツ部 <input type="checkbox"/> 都市建設部 <input type="checkbox"/> 危機管理監 <input type="checkbox"/> 上下水道部 <input type="checkbox"/> 教育部 <input type="checkbox"/> 他 ()			
質問事項	デマンド交通あづみんの発展について		

質問の要旨（具体的に記載してください）

- 公共交通機関として、あづみんの運行便数を増やす必要があるのではないか（特に穂高エリア）。便数を増やすと運行効率を上げられる余地はあるか。
- あづみんは利用率のみならず公共交通としての認知度も低いようであるが、一方、地域公共交通計画案や総合計画においても利用者を大幅に増やす野心的な目標はない（人口に占める実利用者の割合： 2027年度目標 2.5%以上）。あづみんのより一層の広報をお願いしたい（初回利用者に対しアプリ内で「お試し無料チケット」を配布、ポスターの掲示、車体デザインのリニューアル）。利用者を積極的に増やせないジレンマがあるのであれば伺いたい。
- 土曜便は今後実現するのか。日曜祝日の運行はどうか。
- 運転が苦手な観光客にとっては、通年天候に左右されずに利用できる自由度の高い公共交通はタクシー以外ではあづみん。観光客向けの展開は進んでいるか。